

# 主題「情報モラルについて考えよう」

## 副題 ～ メールの正しい知識をもち、正しく使おう ～

さいたま市立神田小学校

### 1 指導に当たって

#### (1) ねらい

メールについて知り、正しい知識を身に付け、情報モラルについての理解と情報活用能力の向上を図る。

#### (2) 児童の実態

普段からインターネットや携帯電話を利用してメールのやりとりをしたことのある児童が多く、メールの便利さやよさについては、多少なりとも実感している。「メールは好き、楽しい」「思ったときにすぐに相手に送ることができる」「メールは便利」「字がきたなくても大丈夫」などといった、メールに対してプラスの意見が多かった。しかし、受け手の気持ちを考えたり、個人情報に注意したりするということまで意識が向いていない。

そこで学習を進めるに当たって、メールのやりとりには心配なこと、注意しなければならないことも多いため、送り手としての責任をもち、相手の気持ちも考えてメールをするという情報モラルの育成を図るように設定した。メールのもつよさを生かすとともに、メールが人と人をつなぐコミュニケーションツールであるということを伝えられるよう、指導していきたい。

### 2 指導計画

(1) メールのよさについて話し合い、ジャストスマイルを利用しメールの体験をする。

(2) 著作権、肖像権、個人情報などの情報モラルについて知る。

(3) 感想の記入。

### 3 授業実践例

(1) メールについて知っていることを出し合う。

(2) 本時のめあてを知る。

- ・メールの便利さやよさ、危険性、メールを行う際の心構えやマナー

(3) ジャストスマイルソフトを使用してクラスの友達とメール交換体験を行う。

- ・メールの見方や送信方法の確認

(4) メールやりとりを通して、気付いたメールのよい点について話し合う。

- ・すぐに送ることが出来る ・楽しい ・字が汚くても大丈夫 ・速い

(5) メール危険性について話し合う。

- ・メール送信時のモラルやマナー

(6) (4) や (5) で話し合ったことに気を付けてもう一度メール交換を行う。

(7) 今日の授業の感想を書く。

- ・メールの注意点や危険性についての振り返り

### 4 成果と課題 (○成果 ●課題)

○今回の学習では、メールの危険性に対する意識の向上につなげることができた。

●メールは常にトラブルと隣合わせであることを知り、情報を扱う際に負う責任などについては今後の学習や指導の中でさらに理解を深めていけるようにしたい。

●今後は掲示板などを利用して、自作の作品にも著作権が生じることや、ネットワーク上でその著作権が簡単に侵害されるなどの危険性があることなども合わせて学べるよう実践していく。